

貸 借 対 照 表

(2019年 3 月 31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	429	流動負債	145
現金及び預金	300	未払金	86
未収入金	127	未払費用	22
前払費用	0	未払法人税等	13
固定資産	19,230	未払消費税等	20
有形固定資産	5	預り金	1
建物	1	固定負債	2,800
工具器具備品	3	長期借入金	2,800
無形固定資産	0	負債合計	2,945
ソフトウェア	0	(純 資 産 の 部)	
投資その他の資産	19,223	株主資本	16,713
関係会社株式	19,223	資本金	9,911
		資本剰余金	6,812
		資本準備金	6,812
		利益剰余金	△ 9
		その利益剰余金	△ 9
		繰越利益剰余金	△ 9
		純資産合計	16,713
資産合計	19,659	負債純資産合計	19,659

損 益 計 算 書

〔 2018年 7 月 2 日から
2019年 3 月 31日まで 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営業収益		
関係会社受入手数料	415	415
営業費用		
販売費及び一般管理費	279	279
営業利益		136
営業外収益		
受取利息	0	
雑収入	0	0
営業外費用		
支払利息	5	
創立費償却	130	135
経常利益		0
税引前当期純利益		0
法人税、住民税及び事業税	10	10
当期純損失(△)		△ 9

個別注記表

<重要な会計方針に係る事項に関する注記>

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
子会社株式の評価は、移動平均法に基づく原価法によっております。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、耐用年数は以下のとおりであります。

建物	18 年
工具器具備品	3～15 年
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、利用可能期間(5年)に基づく定額法により償却しております。
3. 繰延資産の処理方法
創立費は支出時に全額費用として処理しております。
4. 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

<貸借対照表に関する注記>

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 0 百万円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| 短期金銭債権 | 127 百万円 |
| 短期金銭債務 | 75 百万円 |
| 長期金銭債務 | 2,800 百万円 |

<損益計算書に関する注記>

関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
営業収益	415 百万円
営業費用	134 百万円
営業取引以外の取引による取引高	5 百万円

<税効果会計に関する注記>

繰延税金資産の総額は9百万円であります。繰延税金資産のうち評価性引当額として控除した額は9百万円であります。

繰延税金資産の発生の主な原因別内訳は、賞与引当金3百万円、株式報酬費用負担額2百万円、未払費用2百万円であります。

<関連当事者との取引に関する注記>

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	楽天損害保険㈱	所有 直接 100%	経営管理契約の締結、役員の兼任、資金の借入	経営管理料※1 資金の借入※3 利息の支払※3	299 2,800 5	未収入金 長期借入金 未払費用	90 2,800 5
子会社	楽天生命保険㈱	所有 直接 100%	経営管理契約の締結、出向者の受入、役員の兼任	経営管理料※1 受入出向者人件費※2 増資の引受※4	99 105 2,500	未収入金 未払金 未払費用	31 42 9

(注) 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

※1 経営管理契約に基づき決定しております。

※2 出向に関する覚書に基づき、出向者に係る人件費相当額を支払っております。

※3 資金の借入については、市場金利を勘案し、決定しております。

※4 子会社の資金需要等を考慮の上、増資の引受を行っております。

<1株当たり情報に関する注記>

1株当たり純資産額

901,785円10銭

1株当たり当期純損失

535円07銭

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。